

えがおいっぱい

令和8年1月30日（金）
八王子市立たがの杜小中学校
（第二小学校）
第1学年 学年日より

残り2か月となりました！！

立春が近づき、暦の上ではもうすぐ「春」ですが、まだまだ冬の寒い日が続いています。これからさらに寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期となります。「手洗い、うがい、換気」などの対策をしっかりと、健康に過ごせるよう指導していききたいと思います。

さて、2月に入ると、1年生として過ごすのも残り2か月となります。この2か月は、1年生の学習のまとめに入るとともに、2年生になるための準備期間でもあります。生活や学習で今まで身に付けてきたものを定着させるとともに、学習や生活を振り返り、2年生への準備がしっかりできるよう取り組んでいきます。ご家庭でも励ましの声掛けをお願いします。

2月の学習予定

※予定は変更することもあります。

国語	学校のことをつたえあおう ことばでつたえよう おもい出のアルバム にているかん字 お手がみ
算数	おなじかずずつ たすのかな ひくのかな 100 までのかずのけいさん
生活	ふゆをたのしもう じぶんでできるよ
音楽	ようすをおもいうかべて
図工	じぶんえのぐ
体育	多様な動き(たんなわ・ながなわ) ボールけり遊び
道徳	親切・思いやり 個性の伸長 善悪の判断 自律 自由と責任 学活
学活	ありがとう6年生 学校における多様な集団の生活の向上



～お知らせとお願い！～

◆保護者会

3月6日（金）に保護者会を予定しています。お忙しい時期ではありますが、ご出席いただければと思います。13：45～ 各教室で行います。

◆筆箱の中に、鉛筆5本、赤・青鉛筆、消しゴム、が揃っているか確認をお願いします。2年生に向けて、15cm程度の定規（折りたためるタイプは不可）のご用意をお願いします。持ち物には記名をお願いします。

専科の先生より

音楽 松本先生

冬休みの宿題「鍵盤ハーモニカ頑張りカード」の提出に際しましては、お忙しい中、お子様の鍵盤ハーモニカを聴いて下さり、感想や励ましのコメントをありがとうございました。保護者の皆様のお力添えで、冬休み前より何倍も上手になっており、大変驚きました。手の形に気を付け、指使いを守って弾けたり、運指がスムーズになってきたりしています。さらに、しっかりした音で吹けるようになってきており、現在は、発表に向けて歌を加えたり、2部合奏にしたりと皆一生懸命練習に取り組んでいます。

書写 曽根先生

書写の学習では、正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方、正しい筆順、整った字形で丁寧に書くよう指導しています。書き初めでは、一画一画にこめられた子どもたちの思いが6Bの鉛筆に伝わり、太く濃い文字となって見事に表現されていました。書写の学習が他の教科や日常生活の中でも活かされることを願いながら、指導を続けていきます。

算数 小島先生

算数の時間では、先生の話を中心して聞き課題に取り組むだけでなく、子どもたち同士が問題を出し合うこともあります。計算カードを使って時刻の問題を出し合うのですが、それがとても楽しいようでどの子も笑顔で問題を出したり答えたりしています。楽しみながら学習していて、とてもいいなと思います。

児童のさまざまな特性との向き合い方について

◎学びの教室いちょう

私たちは一人ひとり特性が異なり、自分の特性と付き合いながら生活しています。環境の変化などによって、これまであまり顕著ではなかった特性の影響が大きくなることで困難さが見られたり、環境の変化によって適応が促進されたりすることがあります。重要なのは、できないことを無理にできるようにすることではなく、さまざまな特性を理解し、特性とうまく付き合いながら生活していくという視点をもつことです。

ここでは、学校生活でよく見られる困難さと付き合い方の例について紹介したいと思います。

☆板書をノートに写すのが苦手

●記憶の困難がある。

・黒板からノートに視線を移動するまでに、内容を

- ・板書する量を小分けにする。
- ・見本を手元に置く。
- ・注目する場所を枠で囲ったり、色分けしたりするなど分かりやすくする。
- ・マス目の大きいノートを用意する。

忘れてしまう。

- ・何度も見たり書いたりを繰り返すため時間がかかる。

●目の使い方に困難がある。

- ・視線移動がうまくいかず、どこを見ていたか分からなくなる。
- ・どこを見ていいか分からず、書き写せない。

☆整理整頓が苦手

●空間の認知の困難がある。

- ・どこに片づけたらいいか分からない。

●気が散りやすく、片づけられない。

- ・物が多くなると、片づけられなくなる。

・物の置き場所を視覚的に示す。

・とりあえず置ける場所を決め、定期的に整理

するルールにする。

・整理する時間を設定する。

☆宿題をなかなかしない。

●気が散りやすく、テレビやゲームなどが目に見えたり、兄弟が遊んでいる音が聞こえたりすると、取り組めない。

●気持ちの切り替えが難しく、家庭という場で宿題をやるモードになりにくい。

●宿題が難しく、取り組めない。

●字を書くこと、文を読むことなど特定の分野に苦手さがある。

●体力がなく、疲れてしまい取り組めない。

●宿題をしなければならないという意識が低い。

・集中しやすいところなど宿題をする場所を決め、宿題モードになりやすいようにする。

・取り組みやすいタイミングや一緒に取り組める時間帯などを考慮し、宿題をする時間を決める。

・子供の力に合わせて量や内容の調整をする。

・1回あたりに取り組む量を少なくして、その都度評価をし、意欲を高める。